早川町応援団獲得マガジン

やまたらけ

YAMADARAKE

JUNE
No. 71
2015

そば処 武蔵屋 十周年の軌跡

土曜日の朝8時過ぎ、当番の3人が続々と出勤してきた。それぞれ近所で採った山菜を持っている。背負いかごを下ろした杉山美智子さんは、そば屋のすぐ裏に生えるハチク(タケノコ)を採り、お茶畑のお茶の葉を摘む。どれも「そば処武蔵屋」の本日の一品になる予定だ。旬の食材を調達し、お店の周りの掃除が終わったら、仕込みにとりかかる。

煮物の落ち着く香りが、店中に広がる。味がしっかり染み込んだフキやコンニャク。素朴な季節の恵みたちが着々と姿を変えていく。

慣れた手つきでそばを打ち始める。のし棒をなめらかに滑らせ、みるみるうちに四角くのばしていく。それをまたリズミカルに切る。手際よく準備する様子に見入っていると、あっという間に開店の準備が整ってしまった。

開店時刻の11時が近づく頃、来店客が現れ、気付けば賑わう店内。採れたてで水々しいヨモギやウドの天ぷらは最後に揚げ、そばは直前に茹でる。

一番人気のそば定食を頼めば、想像以上の満足感を味わえる。精製度の高いそば粉に、赤沢の美味しい水を使った、洗練されたつるつるでこしのあるそば。旬の山菜が香るさっくさくの天ぷら。田舎のやさしい味の季節の小鉢。次々と運ばれてくる料理に、田舎のおかあさんたちのあたたかいおもてなし。

町内でも人気で、県外に住むリピーターも多いそば処武蔵屋は、この7月に開店10周年を迎える。いつも美味しいおそばを打ってくれる武蔵屋さんの10年の道のりを辿り、その取り組みが地域にもたらしたものを考えてみたい。(佐藤晴日)

▲お店の裏から採ってきたハチクの皮をむく杉山さん。こちらはアク抜きが必要なので、翌日用。

▲天ぷらを揚げる内藤さん。山菜、かき揚げなど5、6種類を手際よく揚げる。

▲望月唯子（ただこ）さん
赤沢生まれ赤沢育ち。そば打ちができたので、声をかけられ途中から仲間になった。武蔵屋には「楽しいから行くだよ。みんなと話すのが。昔はお茶飲みしたけど今はないから、そば屋さんへ行けなくなると、つまらないなぁ。」

武蔵屋の人気の秘密は、おいしいそばは勿論だが、季節の食材を使った小鉢や天ぷらにもある。今日の小鉢はフキ、タケノコ、蒟蒻などの煮物に、なめこおろし。ぬか漬けも手作り。（写真上、左）

かつての賑わいを取り戻したい

江戸時代より参詣者で賑わった身延山と七面山。武蔵屋のある赤沢集落は、両山を結ぶ参詣道にある唯一の宿場町であった。たくさんの人の往来があり、集落住民の大半が、参詣者相手の仕事を生業にして暮らしてきた。しかし、七面山の麓まで車道ができると、山を往く参詣者は減少した。宿場町赤沢の6軒あった旅館は軒並み休業し、現在営業している旅館は1軒のみとなった。

多くの若者がUターンした昭和55年頃、彼らは静かになってしまった故郷をどうにか活性化させ、「次の世代につなぎたい」と年中行事の復活、石畳の整備、町並み保存、植樹等、美しい赤沢の景色を守り、育むために様々な活動に取り組んできた。

女性陣も「郷土料理研究会」を行うなど、積極的にできることを探した。山あいにある赤沢ではそばは日常的に食べられていたが、加えて参詣者にふるまわれる名物としても名高かった。そばは赤沢の地に、赤沢の人の心に根付いた特別なものであった。「赤沢を訪れる人に、かつての味を味わってもらいたい」そんな気持ちが、現在そば屋のリーダーを務める杉山さんの中で膨らんでいった。

▲杉山美智子さん
赤沢生まれ赤沢育ち。みんなを引っ張る武蔵屋のエンジン。そば屋用に野菜を育て、営業日以外も仕込みをする。メンバー曰く「武蔵屋のために特に苦労してくれている」。

踏み出せばその一歩が道となる

そんな折り、早川町内の地域資源を活用した町民の自主的な取り組みをサポートする「あなたのやる気応援事業」の募集が始まった。平成14年、杉山さん、内藤なつ子さんらは「赤沢そば打ち名人になろう会」を結成。そば打ちの技術の向上を目指し、助成金を獲得した。

集落内の畑でソバを栽培したり、道具類を買い揃えイベントの時に出前でそば打ちをしたりということからはじめた。集落全体の取り組みにしたいということで、集落内に声かけをし、賛同してくれた人たちで、そ

ば屋の運営を担う「赤沢そば組合」を立ち上げた。店舗となる空き家探しは、条件の合う家がなかなか見つからず難航したが、なんとか現在の店舗を借りることができた。

家屋の改修には町並み保存の補助金を利用した。足りない費用は組合員の負担と、有り難いことに支援してくれた人もあったという。片付けや水道等、できることがあれば自分たちでやった。

町並み保存の活動で、赤沢が重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから10周年を記念するイベントが、平成17年5月20日から10日間開催されることになり、それにあわせてそば屋をプレオープンさせることになった。イベント期間中、そば屋は大好評で、打っても打ってもそばが足りなくなるぐらいお客さんが来た。連日汗を流しそばを打ちながら、そば打ちの上達を実感し、自信がついた。活動当初は、お店の開業は夢のまた夢と思っていたが、夢が一気に現実に近づいたのを感じた。

その後、平成17年7月7日、ついにそば処「武蔵屋」がオープン。町、「やる気応援事業」、店舗改修を支援してくれた人々。多くの人たちの支えの中、そば処武蔵屋のメンバーは大きな一歩を踏み出した。

美味しいそばに季節感たっぷりの食材を活かしたメニュー、田舎のおかあさんたちのあたたかいおもてなしに、客足も順調に増えていった。周りの人に「人通りのある国道でやればお客さんもたくさん来るのに」と言われるほどだ。

▲内藤なつ子さん
赤沢生まれ赤沢育ち。娘の頃から家族にそばをつくっていた。「お客さんとのふれあいやつながりが楽しい。そば屋はなくしちゃならない。」

集落への思いが原動力

現在、集落内の5人の女性で営業。どうしても人手が足りないときに手伝いに来てくれる人もいる。基本的に土日・祝日のみの営業で、平日は予約があれば店を開ける。他の仕事を持つメンバーも多い中、負担のかからない形で営業を続けている。

お客さんは平均で、一日15～25人といったところ。売上げに応じて日当が支払われるが、正直お小遣い程度になってしまうそう。でも、みんな

平成14年に「あなたのやる気応援事業」の助成を受け、活動がスタート。右上は、審査会でプレゼンする杉山さん。その後、そばを植えたり(右下)、そば打ち講習会を開いたり(右)、集落の村仕事の後に住民にそばを振る舞ったり(上)、様々な活動を展開した。

一番人気のそば定食。そばに天ぷら、小鉢、黍ご飯まで付いてなんと1,000円！そのボリュームと安さにみんな驚く。お手製の山椒の佃煮も絶品。

記念すべき、そば処武蔵屋オープンの日の写真(上、左)。当日は町内の関係者、メディアなども多数訪れ、開店を祝った。七夕飾りには、皆で今後の発展の願いを込めた。

いつかは、赤沢産のそばを使うのが夢。

▲望月照子（てるこ）さん（写真左）
赤沢へお嫁にきた。前夜にうっすら降った雪が朝の光を受けた幻想的な風景は本当に美しい。赤沢の生活の中には、そんな風にふと人に知ってもらいたい瞬間がたくさんあるという。

武蔵屋では平成23年に再び「あなたのやる気応援事業」に挑戦。施設整備をして、製麺所の許可を取った。これによって、生そばの販売が可能になった。

平成18年６月に、石畳の最上部に牧水の歌碑が建てられた際の式典の様子（写真上右）。牧水の親族も訪れ華やかに執り行われた。
平成22年からは、ツアー客などへの集落ガイドもはじまった。（写真上左）現在でも、福寿草や桜、そして紅葉の時季を中心に、ツアー客が多数訪れている。

▲望月玉恵（たまえ）さん
黙々と作業をする、そば打ちが楽しい。「集落のためのことだから協力した方が良い」とご主人が背中を押してくれた。ご主人にもらったそば打ちの本で、美味しいそばを打つための理論を勉強した。

口を揃えて「ボランティアのような気持ちで始めたことだから」、「集落の活性化のためだから」という。「お金儲けをしたいわけではない。ただ、集落に少しでも人が来てほしい。」「赤沢の良いところを知ってもらいたい。」

赤沢をどうにかしたい…その気持ちが、そば屋を続けて来られた源なのだ。

集落に支えられ

集落の人たちもそば屋をバックアップしている。男性陣は、お店を使い勝手よく改装してくれた。近所の人も、米や野菜を提供してくれたり、安く分けたりしてくれた。

かつてはお客さん用のおにぎりをにぎる旅館の仕事を、集落総出で手伝うこともあった。七面山へ荷物を運ぶ仕事も、集落内で声を掛け合い人手を集めて行った。集落全体で、参詣者を受け入れもてなす文化が赤沢には根付いている。「自分のところのお客さんがあれば行けないけれど、困っていたら手伝いに行ってあげたいじゃん。お互い様。」と年数回、武蔵屋の手伝いをする江戸屋旅館の喜代子さんは言う。

赤沢の人たちにとって、集落のために「自分のできることをする」のは当然のこと。武蔵屋に対してできることを、各々が考えているそうだ。

開店から10年が経ち、それぞれ10も歳をとった。身体に不調がないわけではない。「明日にでも営業できなくなるかもしれない…」という不安を抱えながらも、「楽しみに来てくれるお客さんがいるから、なくなってしまうのは寂しい。そば屋さんのために赤沢に来る人が何組もある。」と唯子さん。

杉山さんも「やめてしまおうかと思ったこともある。でもいろいろな人に助けられながら続けてきたので、やれるところまでやりたい。足が痛いけれど、年だから仕方ないと諦めたくない。治すという信念を持っている」という。また「（他のメンバーが打つことの多いそばを）久しぶりに打ったら、思うように打てなくてねぇ。改めて勉強して上達したいと思ったよ。」と前向きな言葉を聞くことができた。

武蔵屋がもたらしたもの

赤沢の歴史、美しい町並み、「やる気応援事業」や重伝建選定10周年記念イベント、そして多くの人々の応援等、様々な要素が重なり武蔵屋は誕生した。

そして、武蔵屋のオープン後も、赤沢は変化を続けている。集落内に若山牧水の歌碑が立てられた。集落の男性陣による町並みのガイドもはじまった。

武蔵屋の開業が、こうした動きに少なからず影響を与えたように、私には見える。赤沢に新たな魅力が生まれ、それが点から線へ、線から面へと繋がりはじめた背景には、お金儲けではなく「赤沢をなんとかしたい」という一心で、ひたむきに活動し続ける武蔵屋のメンバーの存在があることは間違いない。（佐藤晴日）

武蔵屋がオープンした日に、メンバーと集落内の関係者で撮影した記念写真。すでに故人となった方もいらっしゃるが、このときはみんなで開店の喜びをかみしめ合った。

早川旬の直送便

http://shop.joryuken.net/

上記ウェブサイトでは、他の商品も販売しております。会員割引も適用できますので、ぜひご活用下さい。

新緑の春がすぎて山の緑も深くなり、初夏の陽気を感じる季節となりました。この時期ならではの、早川町の物産の中から、通販でお買い求め頂ける逸品を紹介いたします。

雨畑茶アイス

暑い初夏の陽気の下、雨畑新茶を飲みながら、雨畑茶アイスをお召し上がり下さい。

内容／雨畑茶のアイスクリームセット（6カップ）
価格／一般1,890円＋送料・会員1,701円＋送料
発送／ヤマト運輸クール冷凍便で発送
締切／通年

梅シャーベット

早川町の梅を原材料に使ったシャーベットです。食後に食べると、爽やかでさっぱり。

内容／梅シャーベットセット（6カップ）
価格／一般1,890円＋送料・会員1,701円＋送料
発送／ヤマト運輸クール冷凍便で発送
締切／通年

雨畑新茶

完全無農薬の茶葉を手摘みで丁寧に収穫した、希少な雨畑新茶です。

内容／雨畑新茶100g
価格／一般1,100円＋送料
会員990円＋送料
発送／2袋まではレターパックライトにて発送可能
締切／売切れ次第終了

早川の梅

梅酒や梅干作りに、早川町の梅をご利用下さい。数量限定でのご提供となります。

内容／早川町の梅
価格／2kg一般1,200円＋送料、会員1,080円＋送料
1kg一般700円＋送料、会員630円＋送料
発送／収穫状況に応じて注文順に、ゆうパックチルドにて発送
締切／無くなり次第終了

会員価格は、早川サポーターズクラブ、及び日本上流文化圏研究所の会員に適用されます！
送料はお求め頂く商品によって、レターパック、ゆうパックチルド、ヤマト運輸クール冷凍便のいずれかの発送となるため、受注後のご連絡となります。雨畑新茶は発送方法の異なる他商品と一緒に同梱が可能です。

豪華賞品？が当たる やまだらけクイズ！49

問：そば処武蔵屋がオープンした日は、何の日だったでしょうか？

答：1，七夕
2，ひな祭り
3，大晦日

正解者の中から抽選で1名様に、雨畑新茶をプレゼント！締切は7月15日（消印有効）です。

※専用の回答用はがきをお持ちでない方は、官製はがきに回答と、お名前、ご住所、電話番号をご記入の上、お送り頂いても構いません！

前回のクイズの正解は、2の「考える葉」でした。抽選の結果、東野和代さん（大阪市）、秋山一さん（さいたま市）、尾上良雄さん（中井町）が当選しました！おめでとうございます！

【ご注文】NPO法人 日本上流文化圏研究所（早川サポーターズクラブ事務局、やまだらけ編集部）

TEL. 0556-45-2160（9:00～17:30）　FAX. 0556-45-2268　E-mail shop@joryuken.net

注文者氏名、住所、電話番号、お送り先氏名、住所、電話番号、商品名、数量をご連絡下さい。ファックス、メールの場合、折り返しご連絡いたします。3日が経過しても連絡がない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。
支払いは、商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振込みください。

2014年6月より、早川旬の直送便（本紙上及び、インターネット上の直送便サイトでの物産販売）は、早川町黒桂（つづら）の「たつみや（代表：池田良）」が実施しております。商品の発送元、代金の入金先、サイト上の注文先が、たつみやとなりますのでご了承下さい。なお、本紙上で紹介した物産に関する電話、FAX、メールでのご注文先は、引き続き事務局となります。

送料の目安：普通便（ゆうパック）607円～、冷蔵便（ゆうパックチルド）887円～、冷凍便（ヤマト運輸クール）972円～で、東北、近畿、中国、四国、北海道、九州、沖縄は＋300円～600円程度追加料金が発生します。また、大きさや量によっても追加料金が発生する場合がございますのでご了承下さい。正確な送料は、注文後、こちらからお知らせします。

南アルプス邑野鳥公園

イベント詳細はこちら
http://www.hayakawa-eco.com/

7/11-12 山里の暮らし体験ツアー 川の達人と昔ながらの魚とりに挑戦

ひと昔前の早川の子どもたちは、川遊びといったら「魚とり」！その日の獲物は家族にとって夕飯の大事なおかずでした。

今回の「山里の暮らし体験ツアー」は、そんな早川町の川遊びに地元の達人と一緒に挑戦！

童心に帰って、様々な方法を駆使した魚とりに挑戦しましょう。

日　程／2015年7月11日（土）～12日（日）
対　象／20歳以上
参加費／大人14,000円（1泊3食付）
※参加費には宿泊代、プログラム費、食費（3食）、障害保険料、備品レンタル代が含まれます。
定　員／16名
※7月8日（水）までに要申込（定員になり次第締切）

早川のいいもの、うまいものが大集合！
はやかわトラねこ市2015 開催日程決定！

トラックとねこ（一輪車）で、町の「いいもの」「うまいもの」を直売する朝市。今年度も下記の日程で開催します。早川においでの際は、ぜひお立ち寄りください！

5月31日　麓の直売所（ミニトラ）
6月28日　麓の直売所（ミニトラ）
7月19日　麓の直売所（大トラ）
9月27日　麓の直売所（ミニトラ）
10月11日　湯島の湯　（大トラ）

※いずれも開催時間は、9時から12時まで（大トラは13時まで）

問い合わせ先「早川町観光協会」
住所：山梨県南巨摩郡早川町薬袋430　電話：0556-48-8633
一緒に市を盛り上げてくれる出店者も募集中！

7/18-8/24 南アルプスの清流で川遊びプラン

南アルプスから流れる清流で川のプロと一緒に遊びませんか？様々な発見や出会いがあなたを待っています！

ライフジャケットをつけて遊ぶので、泳げないお子様でも安心です。家族で過ごす、とびきり楽しい夏休みの思い出を一緒に作りましょう！

日　程／2015年7月18日（土）～8月24日（月）
対　象／制限なし（中学生以下は保護者同伴）
参加費／大人：8,000円（1泊2食、温泉付）
子ども（小学生以下）：7,300円（1泊2食、温泉付）
※参加費には宿泊代、プログラム費、食費（2食）、障害保険料、備品レンタル代が含まれます。
定　員／20名　※3日前まで次（定員になり次第締切）

宿泊場所は「光源の里温泉　ヘルシー美里」です。JR身延線「下部温泉駅」または高速バス「飯富停留所」からの送迎をご希望の方は事前にご相談ください。
早川サポーターズクラブ会員は宿泊費7,500円の1割引+プログラム費でご参加いただけます。

申し込み／問い合わせ先
南アルプス生態邑「野鳥公園」または「ヘルシー美里」
【野鳥公園】TEL/FAX：0556-48-2288
E-mail：yacho@hayakawa-eco.com
【ヘルシー美里】TEL：0556-48-2621　FAX：0556-48-2622
E-mail：info@hayakawa-eco.com

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある
西山温泉 元湯 蓬莱館
〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島73
TEL：0556-48-2211（代）/FAX：0556-48-2366

奈良田温泉 七不思議の湯
白根館
日本秘湯を守る会々員
日本源泉湯宿を守る会々員
〒409-2701
山梨県南巨摩郡早川町奈良田344
電話 0556-48-2711
FAX 0556-48-2770
www.nukuyu.com/shiranekan/

毎分 1,630ℓ湯温 52℃の掘削自噴火温泉では日本随一を誇る新湯湧出
全てのお風呂、客室風呂、給湯、シャワーに至るまで 源泉掛け流し
全館源泉掛け流しの宿
西山温泉 慶雲館
〒409-2702
山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111
FAX 0556-48-2611　http://www.keiunkan.co.jp

早川町 望月石材店
☎0556-45-2601
身延町 飯富展示場
☎0556-42-4440

〒400-0606
山梨県南巨摩郡富士川町十谷4249
電話 0556-27-0224
ファクシミリ 0556-27-0227
十谷上湯温泉
源氏の湯
日本秘湯を守る会々員　www.nukuyu.com/genji-yu/

新築、改築、マイホームの事なら何でもおまかせ
日本建築のプロフェッショナル
望月工務店
〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保1792
TEL.0556-45-3016　FAX.0556-45-2661（工場）

宿の駅　清水屋

8/14-17 300個の提灯が石畳を幻想的に照らす 赤沢宿の「千灯祭」

お盆に先祖の霊を迎え・送るために行われる千灯祭。赤沢の伝統行事です。昭和25年頃に途絶えていたものを、昭和60年に村おこしの事業として住民が復活させたもので、300個もの提灯が集落中に灯ります。

宿の駅「清水屋」では、その幻想的な風景を楽しんでいただこうと、期間中は夜間も営業いたします。

期間／2015年８月14日（金）～ 17日（月）
営業時間／９時～ 16時、18時～ 20時
（16時～ 18時の間は一旦閉めます）
※軽い飲食が楽しめます。

問い合わせ先「赤沢宿・宿の駅清水屋」
住所：山梨県南巨摩郡早川町赤沢 193
電話：0556-45-3232（水曜定休）

はやかわ創造空間 COCOROTO

7/4-19 南アルプスの木で飯椀作り！

飯椀(めしわん)作りの木工体験教室。早川町産のサクラ、トチの木などを使って制作します。自分で作った特別な茶碗。これで食べる毎日のご飯は格別に美味しいはず。ぜひ、挑戦してみよう！

会　期／2015年７月４日（土）～ 19日（日）
※休館日：月曜・火曜（祝日の場合は営業、水曜代休）
時　間／10：00～17：00（制作時間２時間程度）
対　象／中学生以上（１回の定員４名）
参加費／5,000円～（２名様以上でご予約下さい）
場　所／はやかわ創造空間COCOROTO
※木工作業の一部を体験するもので、技術の習得を目的としたものではありません。

申し込み／問い合わせ先
「はやかわ創造空間 COCOROTO」
住所：山梨県南巨摩郡早川町保 1525
電話：0556-45-2770　E-Mail：cocoroto.cs@gmail.com
ブログ：http://cocoroto.cocolog-nifty.com/blog/

早川サポーターズクラブ会員の皆様へのお知らせ

その１ 過去のやまだらけがweb上で見られる！

サポーターズクラブ会報「やまだらけ」のバックナンバーを、インターネット上で閲覧できるようにしました！（最新１年分は除く）

http://fm-hayakawa.net/club/magazine
※各号表紙写真下の「PDFダウンロード」よりご覧下さい。

その２ 観光施設などで利用できる会員特典がパワーアップ！

会員のみなさまに、「会員として早川を支えてくださっていることへの感謝の気持ちを感じていただけるように」「来町時、早川をもっと楽しんでいただけるように」新たに町民、観光施設からのサービスが増えました！

増えた内容は右の通りです。詳細は下記URLからご確認下さい。
http://fm-hayakawa.net/club/

硯　匠　庵	お買い物１割引
宿の駅清水屋	清水屋特製ストラップをプレゼント
西山温泉慶雲館	宿泊料金10%OFF、夕食時にお料理１品サービス
田んぼの学校	イベント参加時に、畑の野菜をプレゼント(ご自身で収穫)
そば処武蔵屋	食事の方に季節の小鉢

ENEOS
浜田屋商店
電話 0556-48-2311

早川町で感動体験を・・・
南アルプス生態邑
光源の里温泉　ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園
ご予約・お問い合わせ
TEL/0556−48−2621
http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/

霊峰七面山の登山口であなたの旅を支える
株式会社 俵屋観光
バス ジャンボタクシー
有限会社 俵屋旅館
宿泊 宴会 法事などに
〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

生命保険、損害保険のことなら
株式会社　さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360　fax.055-280-3361
自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社　S・T・E・P
tel.055-280-3350
sun life
〒400-0422　山梨県南アルプス市荊沢 1356-1

防災用品
非常用アルファ米・保存水・発電機
簡易トイレ・防災用毛布・テント等
オフィス事務機(有)
〒409-3244
山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077
TEL.0556-32-1003　FAX.0556-32-1004

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。
早川砂利協同組合
理事長　井上聰一郎
山梨県南巨摩郡早川町小縄 26
電話 0556-45-2450

赤沢宿の女性の仕事
七面山へ荷を運ぶ女性たち
（昭和40年頃撮影）

この写真は、赤沢宿の女性達が七面山の坊へ荷物を届けにいく一場面を撮影したもの。

七面山は、今でも日蓮宗の信者達がひっきりなしに訪れる信仰の山で、登山道の途中に坊が点々と建っていて参拝客を迎えている。写真中の女性達の荷にはガスボンベ等も見受けられるが、その重さは平均で約45kgあったという。それを2日がかりで、標高差約一〇〇〇Mを担ぎ上げた。大変な仕事であるはずなのに、写真からは笑い声が聞こえてくるようだ。

仕事をしていたのは大人だけでなく、小さくは小学生位の子供からだという。その役目は「赤ちゃん」をおんぶして七面山へ登る事。もちろん、背負ったのはお客様の子どもではなく、自分の弟や妹。荷運びにかり出されたお母さんについて登り、おっぱいを飲ませたのだ。

赤沢の女性達は小さいときから七面山へ登り、子どもを産んでも重い荷物をひたすら運ぶ仕事にずっと関わってきた。この足腰の鍛え方が、逞しさに大きく関わっていることだろう。現在武蔵屋を切り盛りしている女性達の中にも携わっていた者が健在だ。荷物運びが無くなった今でも、その働きぶりと明るさは変わらない。

ちょっとやそっとの坂道などびくともせず、常にきびきびと明るく働く赤沢の女性の美しさを改めて思わされる一枚だ。（福澤恵美）

■ NEXT やまだらけ

72号特集（8月上旬お届け）

文化財登録記念！
早川町郷土資料館の今昔

早川北小学校の横に、ピンク色のレトロで可愛い建物があります。そこが、次号の主役・早川町郷土資料館。早川町が合併する前は、旧三里村の村役場として使われていた建物で、昨年、登録有形文化財に指定されました。

それを記念して、この建物が立てられた経緯、当時の地域の様子、その後の使われ方などを紹介します。

読者の声

● 多くの文人が訪れ書いた本を読んでみたくなりました。早川のまた違う面を見られたら面白いですね。（品川区Sさん）

● 今一番住みたい県のトップが山梨で、その中でも早川町に何人もの文豪が訪れていること、誇りです。（さいたま市Aさん）

● 前書きでSNSの「なう」とからめた辺り、深く頷きました。そこに居る（行った）ことを知らせる価値があるから、いろいろ書いたり詠ったり、また誰かが来たりするのですね。（八千代市Sさん）

編集部：ありがとうございます。今も昔も、山梨、そして早川には人を惹き付ける魅力があるということですね。本来なら、地元の住む我々がその魅力に気づき守らなければならないのですが、長く住んでいると全てが当たり前になり、なかなか良さに気づけないものです。意外と、外の人から気づかされたりすることも多いのではないでしょうか。

そういう意味では、今回ご紹介した赤沢宿の方々は、いち早く地域の魅力を再発見し、それを守り伝えようと長く活動をしてきたという点で、珍しいですが本当に素晴しい事例だと思います。早川町内に同じ様な取り組みが広がるといいですね。

日新火災
日新火災海上保険 代理店
幡野保険事務所
〒409-3306
山梨県南巨摩郡身延町夜子沢4020
TEL 090-8014-1337
FAX 0556-42-3073

【本社】〒409-2732　山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000　FAX.0556-45-2288
【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700
http://www.soho3000.com/

フェイスブック
はじめました
（雨宮 和久）
On sunny days we can see Mt. Fuji by Gekkado.
月禾堂 TEL(0556)22-0445

赤沢は町内でも別世界のような空気を持っています。取材で訪れる度、美しい景色に胸が一杯になりました。その美しさを守りたいと、赤沢の人達が熱心に活性化に取り組んだのも頷ける気がします。今回の取材が終わり、仕事で赤沢に行ける贅沢な時間がなくなってしまうのは寂しいけれど、自宅から5分の赤沢には、これからも私の癒しの場としてお世話になるでしょう。（佐藤晴日）

山を覗けば宝の山
やまだらけ
発行元／フィールドミュージアム運営委員会
NPO法人日本上流文化圏研究所内
住　所／山梨県南巨摩郡早川町薬袋430　〒409-2727
電　話／0556-45-2160　ファクシミリ／0556-45-2268